

学校は歴史的にも社会的にも地域の結集軸です。しかし少子化の進行で数多くの統廃合が進められてきました。その中で、発生した廃校舎の活用方法がみえず、多くが未利用のままとなっています。廃校を地域の宝とし、地域活性化の有用な素材とできないか、廃校活用は各地で喫緊の課題となっています。

本センターでは、全国各地で取り組まれている廃校活用について、その先行例の「全国実態調査」を行ってきました。その調査に基づいて、海浜および山村自治体での廃校活用と地域活性化の可能性を考えます。

日時：2016年**10月18日**(火) 13:15～15:00

場所：愛知大学豊橋校舎 記念会館 3階 小講堂

あいさつ 戸田敏行（愛知大学三遠南信地域連携研究センター長）

■ 基調講演（30分）

明日の東栄町と廃校活用を考える

東栄町長
村上 孝治



東栄町のき山学校

■ パネルディスカッション（65分）

廃校活用の地域合意をどう形成するか？

■ 報告（15分） 全国廃校活用調査から読み取れること

久保田 経三（NPOフォーラム自治研究 主任研究員）

■ ディスカッション（50分）

パネラー 村上 孝治（東栄町長）
 粕谷 政行（「伊良湖小」活用検討委員会委員）
 大脇 聡（「のき山学校」NPOてほへ 副理事長）

司 会 嶋津 隆文（三遠南信地域連携研究センター研究員
 ・NPOフォーラム自治研究 理事長）

《個別テーマ》

- ① 廃校はなくすべきか、活かすべきか？
- ② 廃校活用における地域合意をどうつくる
- ③ 海浜・山村の地域活性化への私のヒトコト

主催：愛知大学三遠南信地域連携研究センター

共催：NPOフォーラム自治研究

御名前：

御所属：

御連絡先（TEL・FAX・E-mailいずれか）：

※参加をご希望の方は、上記をご記入の上、FAXまたはE-mailで10月11日(火)迄にお申し込み下さい。

文部科学省 共同利用・共同研究拠点
 「越境地域政策研究拠点」

愛知大学三遠南信地域連携研究センター

海浜・山間地域の

廃校活用を考える

入場無料

■お問い合わせ・お申込み先
 三遠南信地域連携研究センター
 〒441-8522 愛知県豊橋市町畑町1-1
 TEL：0532-47-4157
 FAX：0532-47-4576
 E-mail：sen-center@ml.aichi-u.ac.jp